

令和5年度

事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

一般財団法人 日田市公民館運営事業団

令和5年度事業報告について

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

当法人は、日田市公民館の設置及び管理に関する条例に掲げる公民館（中央公民館を除く。）の管理運営及び各種の事業を行うことにより、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、もって市民の生涯学習活動の振興、市民参加のまちづくりの促進に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

平成23年2月16日

イ 基本財産

基本財産は、300万円（全額日田市出資）である。

ウ 実施事業

(ア) 日田市から指定を受けた公民館等の管理運営

(イ) 市民に対する多様な学習機会の提供

(ウ) 市民の学習成果の評価・発表・活用に関する事業

(エ) 市民参加のまちづくりの促進に関する事業

(オ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 評議員及び役員（理事、監事）に関する事項（令和6年3月末現在）

(1) 評議員（任期4年）令和8年6月の定時評議員まで

役 職	氏 名	就任年月日
評議員		
評議員	長尾 秀吉	平成30年6月29日
評議員	橋本 成人	平成25年6月19日
評議員	高瀬 博	平成30年6月29日
評議員	工藤 典子	平成23年5月31日
評議員	園田 匠	平成30年6月29日
評議員	諫本 源太	令和5年6月30日
評議員	後藤 靖孝	令和5年6月30日
評議員	高倉 保徳	令和5年6月30日

(2) 理事 (任期2年) 令和6年6月の定時評議員まで

役 職	氏 名	就任年月日
代表理事 (理事長)	江嶋 久典	令和5年11月8日
副理事長	森 弘子	平成30年6月29日
理 事	藤井 維清	平成31年4月12日
理 事	川津 三郎	令和5年6月30日
理 事	中塚 龍馬	令和5年6月30日
理 事	馬場 亮次	令和4年6月30日
理 事	三俣 壽磨子	平成30年6月29日
理 事	戸山 孝徳	令和5年6月30日
常務理事	信岡 謙介	令和5年6月30日

(3) 監事 (任期4年) 令和8年6月の定時評議員まで

監 事	小ヶ内 聡行	平成23年2月16日
監 事	園田 恭一郎	令和5年6月30日

(4) 職員

区分	館長	主事	事務 局長	事務 局員	臨時 職員	合 計		
						男	女	
地区公民館	20	20				40	31	9
事 務 局			1	2	1	4	3	1
合 計	20	20	1	2	1	44	36	8

3 会議などの開催状況

(1) 評議員会・理事会・監査等

開催年月日	開催	付議事項	審議結果
6月6日	監査	・令和4年度事業及び決算の監査	適正
6月23日	第1回定例理事会	・令和4年度の事業報告と決算報告について ・監査報告について ・評議員、理事、監事の候補者の推薦について ・定時評議員会の招集について	承認 承認 承認 承認
6月30日	定時評議員会	・令和4年度の事業報告と決算認定について ・評議員の選任について ・理事の選任について ・監事の選任について	可決 可決 可決 可決
8月10日	第1回臨時理事会 (書面決議)	・常務理事の選任について ・人事委員会委員の選任について	理事全員の同意により選任
10月20日	第2回臨時理事会 (書面決議)	・理事候補者の推薦について ・評議員会の招集について	理事全員の同意により承認
11月1日	第1回臨時評議員会 (書面決議)	・理事の選任について	評議員全員の同意により選任
11月8日	第3回臨時理事会	・代表理事（理事長）の選任について	選任
11月28日	第4回臨時理事会	・放課後児童クラブ運営業務の受託について	承認
1月26日	第5回臨時理事会	・理事長の職務執行状況について ・令和5年度収支予算補正第1号について ・館長の採用について ・事務局長の選任について ・評議委員会の招集について ・その他（放課後児童クラブ運営事業について）	承認

2月6日	第2回臨時評議委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長の職務執行状況 ・ 放課後児童クラブ運営業務の委託について ・ 事務局長の変更について ・ 令和5年度収支予算補正第1号について 	承認
3月19日	第2回定例理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員給与規程の一部改正について ・ 一般財団法人日田市公民館運営事業団評議員及び役員の報酬等に関する規程の一部改正について ・ 一般財団法人日田市公民館運営事業団常務理事兼事務局長の給与、勤務時間及びその他勤務条件に関する規程の一部改正について ・ 令和6年度事業計画について ・ 令和6年度収支予算書について ・ 職員就業規則の一部改正について ・ 臨時評議委員会の収集について 	承認
3月27日	第3回臨時評議委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員給与規程の一部改正について ・ 役員の報酬等に関する規程の一部改正について ・ 事務局長の給与、勤務条件等に関する規程の一部改正について ・ 職員就業規則の一部改正について ・ 令和6年4月1日の館長配置について ・ 令和6年度事業計画について ・ 令和6年度 収支予算について 	承認

(2) 人事委員会

館長採用 関係 10月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日採用館長の6ヶ月間の勤務態度及び自己評価シートから判断し、正式採用（朝日、西有田、東有田、小野、夜明、中津江、天瀬） ・ 2期目館長任期が満了する館の公民館運営委員会へ後任館長候補者推薦依頼 対象館 光岡、大山 推薦締切日 12月27日
館長採用 関係 1月19日	1期目地区推薦と2期目への継続希望館長の面接試験 対象館 1期目 光岡、大山 2期目 咸宜、桂林、日隈、若宮、前津江
公民館主事 採用関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集人数 1人 ・ 令和6年2月25日 一次試験(教養試験と適性検査、小論文) ・ 令和6年3月10日 二次試験(面接)

(3) 事務局

諸会議	<ul style="list-style-type: none"> ・館長主事合同会議（4月7日） 市の関係機関から令和5年度事業説明 事務局から令和5年度事業計画、予算等について説明 ・ブロック長・次長会議 毎月25日開催 ・館長会議 毎月1日開催 ・主事会議 毎月10日開催
5月	各館修繕要望箇所調査（修繕箇所は別紙）
6月28日 ～30日	<p>社会教育課による各館モニタリング調査（7館） → 7月25日付で結果通知（調査結果）</p> <p>事業、業務については適切に履行されている。また、管理運営における基本的事項や施設の維持管理についても概ね適切に行われている。</p> <p>（指摘事項）</p> <p>樹木管理等の経費について、次期更新時までに対応を確認しておくこと</p>
11月～12月	各館事務検査

令和5年度職員研修

① 研修推進委員会開催状況

5月25日	令和4年度の反省と令和5年度研修計画について
6月26日	令和5年度研修計画について（計画の検討）
7月7日	令和5年度研修計画について（計画の検討）
9月25日	令和5年度研修計画について（計画決定）

② 研修実施状況

研修名	主催者	会場	期日	館長	主事
新任職員研修	事業団	AOSE	4月4,5日	7	0
新任職員研修（現地視察）	事業団	市内各公民館	4月6,7日	7	0
大分県公民館関係職員研修会	県教委	県立図書館	5月24日	6	1
森林環境学習指導者養成研修会（1回目）	県教委	大分県 香々地 青少年の家	5月27日	1	1
新任社会教育行政職員・新任社会教育主事研修会	県教委	県立図書館	6月2日	6	0
社会教育主事講習事前説明会	県教委	大分県庁舎	6月26日	0	1
県公民館テーマ別研修会①	県教委	県立図書館	7月14日	1	1
地域とともにある学校づくり推進フォーラム2023 茨城（オンライン研修）	文部科学省	AOSE	7月15日	3	3
救急救命研修	日田市	市役所	8月1,3日	14	8

2023 日田市人権講演会 「ニュースが伝えない差別の現場」	市人権・部落差別 解消教育啓発 推進協議会	パトリア日田	8月23日	10	8
県社会教育行政職員専門研修会	県教委	県立図書館	9月1日	0	2
森林環境学習指導者養成研修会 (2回目)	県教委	大分県 香々地 青少年の家	9月9日	0	1
人権・部落差別問題に関する研 修	市総務課	市役所 7F	9月11日	6	5
県公民館テーマ別研修会②	県教委	県立図書館	9月15日	2	3
人権教育推進講座 指導者養成・ 指導者スキルアップコース①	県庁人権教 育・部落差別 解消推進課	県教育センター	9月15日	0	2
令和5年度人権連続講座 ～部落差別について～	社会教育課	高瀬公民館	9月20日	1	3
令和5年度人権連続講座 ～外国人差別について～	社会教育課	高瀬公民館	9月27日	1	5
節目(3～9年次)職員研修	事業団	高瀬公民館	9月27日	0	7
人権・部落差別問題に関する研 修	市総務課	市役所 7F	9月29日	2	6
節目(3～9年次)職員研修	事業団	AOSE	10月4日	0	7
デジタル活用支援員養成講座	社会教育課	AOSE	10月4日	0	4
Cブロック職員視察研修	事業団	久留米市市民活 動サポートセン ター みんなくる	10月5日	5	5
大分県公民館研究大会	県教委	九重文化センタ ー	10月6日	20	19
やさしい日本語学習会	社会教育課	AOSE	10月10日	0	4
人権教育推進講座 指導者養成・ 指導者スキルアップコース②	県庁人権教 育・部落差別 解消推進課	県教育センター	10月11日	0	2
大分県社会教育主事専門研修会	県教委	大分県立香々地 青少年の家	10月20日	0	2
令和5年度人権連続講座 ～障がい者差別について～	社会教育課	高瀬公民館	10月23日	2	2
やさしい日本語交流・実践会	社会教育課	AOSE	10月24日	0	4
デジタル活用支援員養成講座	社会教育課	AOSE	10月24日	0	3
節目(3～9年次)職員研修	事業団	桂林公民館	10月25日	0	4
大分県人教出前講座	社会教育課	AOSE	11月1日	11	16
人権教育推進講座 指導者養成・ 指導者スキルアップコース③	県庁人権教 育・部落差別 解消推進課	県教育センター	11月7日	0	2
指定管理者から学ぶ公民館のミ ライ(オンライン研修)	全国公民館 連合会	AOSE	11月10日	0	19
指導者・支援者向けスマホ教室	社会教育課	AOSE	11月 14,16,20日	1	3

Cブロック館長研修	事業団	日田フォレスト (株) 他	11月17日	5	0
公民館の未来'sフェス (オンライン研修)	全国公民館 連合会	AOSE	11月17日	0	3
指導者・支援者向けスマホ教室	社会教育課	AOSE	11月20日	1	3
県社会人権教育・部落差別解消 推進協議会実践交流会	県教委	豊後高田市	11月21日	0	1
節目(3~9年次)職員研修	事業団	AOSE	11月22日	0	7
Dブロック職員視察研修	事業団	唐津市名護屋 城博物館	11月29日	5	5
節目(3~9年次)職員研修	事業団	桂林公民館	12月5日	0	12
人権教育推進講座 指導者養成・ 指導者スキルアップコース④	県庁人権教 育・部落差別 解消推進課	県教育センター	12月6日	0	4
館長視察研修	事業団	太宰府市地域コ ミュニティ課	12月8日	18	0
人権と出会う日田のまちづくり 推進講演会	NPO法人ひ た人権研究 センター	パトリア日田	12月9日	1	3
節目(3~9年次)職員研修	事業団	桂林公民館	12月12日	0	3
生涯学習実践交流会	県教委	県教育センター	12月13日	4	3
県社会教育行政職員専門研修会	県教委	県立図書館	12月15日	0	3
一般救急講習	事業団	日田消防署	12月18日	5	12
節目(3~9年次)職員研修	事業団	AOSE	12月19日	0	3
節目(3~9年次)職員研修	事業団	AOSE	12月26日	0	6
障がい者支援事業研修	事業団	パトリア	1月5日	0	21
職員人権研修会	事業団	AOSE	1月12日	17	22
人権教育推進講座 指導者養成・ 指導者スキルアップコース⑤	県庁人権教 育・部落差別 解消推進課	県教育センター	1月17日	0	2
森林環境学習指導者養成講座	県教委	九重青少年の家	1月27日 ~28日	0	1
日田地区公民館連合会研修	県公連	九重文化センター	2月6日	10	11
社会教育推進フォーラム (オンライン研修)	全国公民館 連合会	AOSE	2月9日	0	6
Aブロック職員研修	事業団	咸宜公民館	2月21日	5	5
家庭教育支援関係者研修	県教委	県立図書館	2月22日	0	1
Dブロック職員研修	事業団	大山公民館	3月1日	4	5
社会教育関係職員等合同研修会	県教委	県立図書館	3月1日	0	3
Bブロック職員研修	事業団	朝霧の館・くる めウス・昇開橋	3月15日	4	5
合 計 (研 修)				185	304
				489	

※人数は事務局職員を含む。

(5) 公民館運営委員会連絡会

6月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回連絡会 事業団からの説明事項 令和4年度の事業報告及び決算報告について 令和5年度の事業計画及び予算について 連絡会役員の改選について 社会教育課からの報告事項
10月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第74回大分県公民館研究大会（九重町）10名参加

3. 地区公民館の利用状況(4月から3月まで)

年度	公民館事業		貸館利用		合 計	
	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員
元年度 (コロナ前)	8,532	95,226	2,519	78,663	11,051	173,889
2年度	4,718	40,394	1,403	15,378	6,121	55,772
3年度	6,502	55,336	2,110	33,988	8,612	89,324
4年度	7,322	60,895	2,436	37,093	9,758	97,988
5年度	11,203	103,014	3,729	87,117	14,932	190,131
増減(4年比)	3,881	42,119	1,293	50,024	5,174	92,143
〃(元年比)	2,671	7,788	1,210	8,454	3,881	16,242

No.	公民館	8 その他の学習			9 自主学習教室			10 公民館まつり			11 ふるさとまつり			12 まちづくり事業			13 その他事業			総数			貸館・その他				公民館合計							
		講座名	回数	延人数	教室数	開催回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座数	回数	延人数	回数	男性	女性	合計	回数	総合計									
																										回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数
1	咸宜							咸宜公民館ふれあいまつり	1	350				ふるさと咸宜学	3	36																		
														世代間交流グラウンドゴルフ大会	1	35																		
					30	916	7,588										2	4	71	43	999	9,389	279	2,601	3,558	6,159	1,278	15,548						
2	桂林	すずめの学校	12	75							第9回桂林ふれあい祭	1	1,200	桂林サボート隊	5	48	防災事業	1	43															
														桂林ぶらりと歩こう会	6	98																		
					1	12	75										2	11	146	1	1	43	46	955	9,389	415	2,757	3,528	6,285	1,370	15,674			
3	日隈							第23回日隈公民館まつり	1	70				親善マレットゴルフ大会	1	46																		
					12	362	2,481										1	1	46							27	413	3,395	281	2,426	4,297	6,723	694	10,118
4	若宮							若宮公民館まつり	1	290				わかみやウォーキング大会	1	47	防災セミナー	1	14															
														若宮地区青壮年会連絡会	1	9																		
					16	518	3,520										2	2	56	1	1	14	32	611	5,063	330	2,141	3,792	5,933	941	10,996			
5	三芳	子育て応援講座	2	14				三芳公民館祭り	1	400				三芳を歩こう	1	61																		
														防災士連絡協議会	1	24																		
					1	2	14							歴史探訪	1	37																		
					20	595	4,595							三芳見守り隊	2	575																		
																	4	5	697							39	690	7,616	119	2,749	3,247	5,996	809	13,612
6	高瀬													高瀬史福修会	12	39																		
														狹窓ウォークin高瀬	1	106																		
					16	509	3,650										2	13	145							30	589	5,078	102	2,696	5,499	8,195	691	13,273
7	光岡							光岡ふれあいまつり	1	1,200				葉の花ウォーキング大会																				
														男の居場所	12	62																		
														輝雄館グラウンドゴルフ大会	1	101																		
					22	755	5,876										3	13	163	38	887	9,017	251	1,112	1,502	2,614	1,138	11,631						
8	朝日													地域活動支援事業	17	208	防災学習	1	13															
														地域活性化事業																				
					10	436	2,295																											
9	三花							みはなふるさとまつり	1	1,600				社年会等連絡協議会・女性連絡協議会	5	49	防災について学ぶ	1	21															
														自治公民館活性化事業	9	67																		
														石坂石畳道ウォーキング大会	1	216																		
					21	534	3,663										1	1	21	40	759	8,043	243	3,680	3,198	6,878	1,002	14,921						
10	西有田							西有田まつり	1	1,000				西有田防災・防犯講座	2	32																		
														西有田ロビー展	2	93																		
														出張教室	4	24																		
														西有田歴史愛好会	4	45																		
					20	500	3,598										4	12	194	39	634	5,641	105	2,166	2,058	4,224	739	9,865						

No.	公民館	8 その他の学習			9 自主学習教室			10 公民館まつり			11 ふるさとまつり			12 まちづくり事業			13 その他事業			総数			貸館・その他				公民館合計		
		講座名	回数	延人数	教室数	開催回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座数	回数	延人数	回数	男性	女性	合計	回数	総合計	
11	東有田	ひがしありた塾	4	43						第36回東有田ふるさとまつり	1	508				東有田公民館リノベーション事業	3	8											
			1	4	43	7	219	1,291				1	508				1	3	8	28	396	3,228	102	1,710	1,061	2,771	498	5,999	
12	小野																												
					8	126	1,070																						
13	大鶴																												
14	夜明																												
15	五和																												
16	前津江	男女共同参画講座	1	33																									
			1	1	33	13	277	1,502																					
17	中津江	文化振興	3	87																									
			1	3	87	11	389	1,775																					
18	上津江	みんなのロビー展	3																										
			1	3		11	214	1,940																					
19	大山																												
20	天瀬																												
合計			6	25	252	331	9,213	64,073	10	10	2,338	10	10	8,008	42	180	5,035	18	40	815	671	11,203	102,981	3,729	41,324	48,791	90,115	14,932	193,096
再掲			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107	150	2,392	0	0	0	0	0	2,392
再掲を含む計			6	25	252	331	9,213	64,073	10	10	2,338	10	10	8,008	42	180	5,035	18	40	815	778	11,353	105,373	3,729	41,324	48,791	90,115	14,932	195,488

令和5年度 公民館事業評価

令和6年6月12日

一般財団法人 日田市公民館運営事業団

令和5年度の反省・評価

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
咸宜	咸宜公民館では、「地域に密着した公民館、市民に開かれ多くの市民が利用しやすい公民館」として、現代的な課題解決に向けての学習機会を提供し、「人づくり」「地域づくり」に向けた社会教育活動を実施いたします。	今年度から公民館まつりも復活し、以前の利用状況に戻った。咸宜公民館は主催事業以外にも自主学習教室や貸館での利用が多く、来館者・電話対応・利用料処理も重なるので、丁寧かつ正確な対応を今後も心がけたい。	公民館だより、チラシとも概ね計画通りの発行ができた。今年度のチラシ発行でも複数の事業募集を1枚に収めるなどで、各地区の負担を考慮し配付部数や発行回数に努めた。次年度から配付のタイミングが月1回となるため、記事の内容を含め計画的な発行を心がける。	悪天候や講師都合での中止以外では計画通りの実施ができた。歴史や環境系の講師選定が難航した為、両分野には特に注力したい。	令和5年度は主催事業については中止が続いていた公民館まつりの久々での開催ができた。自主学習教室は講師の高齢化が理由での閉講があり、実施数の減少があった。貸館では定期的な利用の無くなった団体があり回数は減少したものの、全体の利用者数では増加した。咸宜地区は自治会や地域団体も多彩であるため、今後も地域や人を繋ぐ場所としての公民館づくりを目指したい。	<p>【職員対応】</p> 咸宜公民館は利用が多いので職員2名では大変。サポートスタッフの検討はできないのか・館内がきれいに整理整頓されており気持ちよく利用できる。問い合わせにも詳しく対応してくれる。・対応がスムーズで丁寧。・親切な対応に感謝。・職員の対応は良い。・忙しい中でよく対応してくれて感謝。 <p>【運営方針】</p> 自主学習教室や主催事業以外にも地域の拠り所を目指して欲しい。・公民館を利用することで交流や生きがいを感じられて感謝している。・地域密着の運営をしてきている。 <p>【広報活動】</p> 高齢者には紙媒体が必要だが、若い世代へのLINEやインスタなどの活用も検討して欲しい。・分かりやすく読みやすい工夫がされている。募集チラシもよくできている。目に付く所へ掲示してほしい。
桂林	桂林公民館は、地区住民の「教養の向上・健康の増進・情操の純化」を図り生活文化の振興と社会福祉の増進に寄与することを目的に運営してきました。今年も建設時に名づけられた「遊学館」という名前の様な施設となるよう、地区住民の皆さんが、気軽に公民館へ足を運び、集まった人々がそこで共に学び合い、そして交遊を深めあう地域の拠点となるよう公民館活動を展開します。	コロナによる制限もなくなり、すべての主催事業を計画通り実施することができた。また、4年ぶりのふれあい祭の開催や選挙などの貸館で利用者数が大幅に増加した。しかし、自主学習教室が2教室解散したことや、各教室の参加者数が減少している。広報などを通じて自主学習教室の活性化を図りたい。	地域ごとのお祭りや事業や祭りが重なり、HPの更新が遅れた時期があった。情報は生ものなので、早い更新を心がけたい。	ほぼ計画通りに主催事業を開催することができた。高齢者事業や青少年事業も参加者が増加し、好評であった。しかし、女性セミナーの参加者が年々減少していたことから、昼間開催への変更を参加者様に提案をしているところである。また、新規ではじめてスイーツ教室も、若い世代の参加がまだまだ少ないので、周知を図っていききたい。	<p>【職員対応】</p> コロナによる制限が解除となり、ほぼ計画通りに事業を開催することができた。青少年事業での宿泊体験や学びの教室も開催でき、参加者だけでなく、保護者の方にも好評だった。高齢者教室でも年々参加者が増加しており、みなさんの学びや外出に関する意欲が戻りつつあるのを感じられる1年だった。また、4年ぶりとなるふれあい祭でも、多くの方々にご参加いただき交流を深めることができ、地区団体や自主学習教室生のみなさんの協力もあり、盛大のうちに終えることができた。 <p>【運営方針】</p> コロナ禍もようやく落ち着きを見せ、ふれあい祭り等、殆どの事業が運営方針に沿って実施出来たようです。引き続きふれあいと交遊・交流を基本とした、地域コミュニティの拠点となるべき取り組みに期待します。 <p>【広報活動】</p> 公民館だよりやホームページ等による広報活動は、内容もわかり易く充実したものとなっていました。また、発行回数もほぼ計画通りに発行されており良好です。興味を引く地区内での出来事など今後の掲載も検討下さい。	
三芳	地域住民や各種団体との連携・協力を図りながら「活力ある三芳」創りを基本とし、①「あかるい三芳」「すこやか三芳」「すみよい三芳」創り。②社会教育と学校教育が連携。③日田市教育行政実施方針が示す「未来を切り拓き、ふるさとを愛する人づくり」。これら3点を地区の実態を考慮しながら特色ある社会教育の推進と地区民の有効利用施設としての運営に取り組み、また地域に密着し地域住民が積極的に参画できる公民館運営を行うことで気軽に利用できる公民館及び地域住民によるまち作りの拠点となれるよう努力する。	コロナ禍が終息し、公民館事業や利用率も向上してきた。	広報紙(公民館だより)は計画通り発行することができた。	コロナ禍も終息し、ほぼ計画通り実施することが出来た。	<p>【職員対応】</p> コロナ禍の終息に伴い、公民館活動全体が活発になってきている。 <p>【運営方針】</p> 良いと思う。 <p>【広報活動】</p> できている。(ホームページはみていないが)更新数72は素晴らしい。	

令和5年度の反省・評価

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
光岡	光岡公民館の基本理念である「心豊かな活力ある人づくりまちづくり」推進のため、地域の方々との密接な繋がりを大切にし、地域住民が主体的に運営に関わることで、生涯学習社会における地域の教育機関としての役割と、地域の人々の交流の場、人づくり・まちづくり活動の拠点としての役割を果たしていきます。	事業回数等、予定通り開催でき、多くの方に参加いただいた。これから幅広い内容での事業を展開できるように努める。	公民館報については、おおよそ計画通りに実施できたが、ホームページの更新が減少したため、来年度は更新回数の増加に努めたい。 また、地域行事にはより一層取材をして掲載したい。	成人及び高齢者対象事業では参加者の固定化や高齢化による参加者が減少している。	主催事業全般として、アンケートによる受講者の満足度は高いが、受講者のマンネリ化や減少傾向がみられ、講座内容や取り組みの改善が必要。 平素より、今日の社会情勢や公民館利用者や受講者との会話にアンテナを張り、求められる公民館事業の企画が急務である。 また、学校のコミュニティスクール導入や公民館事業の多様化により、地域人材による活動支援が重要であり、光岡っ子お助け隊(人財バンク事業)などの登録数拡大が急務であり、主催事業受講者はもちろん、地域の人材発掘・育成に重点を置いた取り組みを行いたい。	【職員対応】 今後もあいさつの励行、名札の着用は徹底し、地域の皆様が誰でも気軽に安心して利用できる公民館としてサービスの向上を継続する。 【運営方針】 地域の人々の交流の場、人づくりまちづくり活動の拠点としての役割を今後とも継続発展させていく必要がある。 【広報活動】 広報誌やホームページについて、公民館主催事業の告知や報告や、地域情報の発信源とし、これまで以上の充実と向上が望まれる。
三花	これまでは新型コロナウイルス感染症により活動を制限されていたが、3年を経過し、従前の活動が可能になりつつある。 かねてより、三花地区は高齢者対策としての「すずめの学校」事業をはじめ各種の活動を通じ、住民相互の支え合いや生きがいづくり・人づくりに積極的に取り組んでいる。そこで、移転4年目となる現公民館を拠点として、自治公民館や各種団体と連携し、住民の理解を得て、公民館の役割や機能を最大限に発揮して、三花地区が「夢を持ち人と地域が元気なまち」となるように努めてまいります。	5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、公民館事業がほぼ実行された。また、6年ぶりの「みはなふるさとまつり」が開催され、地域住民の集いの場として、公民館が活用された。	見やすいデザインと魅力ある活動掲載を目指して公民館報を発行し、ホームページにより地域の方々や公民館をつなぐ広報活動を展開した。今後、地域の方々や公民館をつなぐ魅力ある公民館報・ホームページづくりに努めていく。	5月の新型コロナウイルス感染症5類移行により、ほぼ全ての活動が開催できた。コロナ禍において簡略化された会合などあるため、特に町内人権学習会が行えない自治会があった。人権学習の重要性を再確認するとともに、今後は情勢に応じた事業展開をしていきたい。	令和5年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行により、ほぼ全ての活動が開催できた。しかし、コロナ禍を経て住民同士のつながりが希薄になった面もある。今年度、6年ぶりのふるさとまつりによって、住民がたくさん集い協力することで横のつながりが少しずつ回復してきたように思える。地区の方々が集いの場として公民館の機能が十分に発揮されるように今後も公民館活動を続けていきたい。	【職員対応】 住民が気軽に利用できる雰囲気づくりに努めている。 【運営方針】 実施方針に基づき、目標・目的を達成するために各種事業に取り組んでいる。今後も、事業を見直し・改善を行いながら、目標を達成できるよう取り組むことを希望する。 【広報活動】 公民館だよりやチラシは見やすい紙面になったように思える。今後も分かりやすい広報で、情報発信に努めてほしい。
日隈	日隈公民館は地区公民館として、日隈校区の人々に対して教育・文化・健康に関する各種事業を提供するとともに、地域コミュニティの核として、地域の課題である防災対策意識や人権意識の向上、そして、地域と社会をつなぐ事業の推進をおして「地域はひとつ・みんなで作る日隈校区」をめざす。	新型コロナウイルスが5類に移行したこともあり、徐々に公民館の利用も増加していった。地域の方々にとって利用しやすい公民館となるよう、利用者のニーズがどこにあるかを探りながら公民館事業を開催していきたい。	計画的に公民館だより、ホームページの更新を行った。日隈公民館だよりは、紙面は読みやすい内容を目指した。ホームページにおいても地域の話題などをもっと取り上げていけるようにしたい。	公民館まつりを3年ぶりに開催し、教室生の発表の場を作ることが出来た。感染拡大時は事業の変更があったが、各事業での視察研修など開催することが出来た。新規事業でひのくま歴史セミナーを開催するなど地域のニーズに応えることが出来た。	令和4年度は新型コロナウイルスの影響があり、企画していた事業を変更や中止することがあったが、今年度は新たなスタートのつもりで地域のニーズを探りながら柔軟に事業の実施をすることが出来た。学校や地域のイベントが少しずつ以前の活動にもどって行く中で、公民館と学校・地域とのつながりが薄くならないよう広報等で発信しながら、利用者のニーズを開き、幅広い世代の方が来館しやすい公民館を目指していきたい。	【職員対応】 今後も適切な対応をお願いしたい 【運営方針】 事業等を積極的に行い有難く思う 今後も協力したい 【広報活動】 広報は地域の情報も掲載し充実した内容を目指してほしい

令和5年度の反省・評価

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
若宮	<p>日田市教育基本理念『未来を切り拓き、ふるさとを愛するひとづくり』を運営基本方針の柱とし、日田市教育行政実施方針で示す「市民の豊かな学びを支える社会教育の充実」を図るため、より「地域に密着し地区民の利用しやすい公民館」づくりに努め、気軽に立ち寄り利用できる公民館運営を目指す。</p> <p>公民館活動の基本である「つどろ・まなぶ・むすぶ」を念頭に事業を推進し、地域の拠点として特色ある公民館活動を展開していく。</p>	<p>貸館利用回数は減ったものの、主催事業・自主学习教室の回数が増え、利用者数はすべてで増加している。丁寧な対応で利用者に喜んでもらえるように心掛けていきたい。</p>	<p>公民館だよりは、公民館主催事業が主となっているが、今後は地域の情報も増やしていきたい。ホームページは、R5年度から更新を増やしている。特に「スクラム教室」では、開催中にリアルタイムに更新することで保護者の方も様子を確認することができ、多くの閲覧があった。</p>	<p>事業の実施については、コロナの影響もほとんどなくなり、計画通り進めることができた。ただ主催事業の教室生（申込者）は、コロナ以前に比べると少なく、少なからず影響を受けていると思われる。教室生が戻ってくるような、魅力ある事業を計画していきたい。</p>	<p>青少年事業での宿泊研修、公民館まつりと、コロナ禍で実施できなかった事業を実施することができ、事業の実施に関してはコロナの影響もなくなったように思う。一方で教室生が少なかったり、「そば打ち教室」の申込者が少なく事業中止になったり、参加者がコロナ前に比べると減少しているため、今後は参加者が戻ってくるような事業内容の計画、および周知をしていきたい。</p>	<p>【職員対応】 多忙な中で、利用者への対応はよくできていると思う。</p> <p>【運営方針】 コロナ禍4年目、困難を伴いながらも、コロナ前の活動に戻り、地区の実情に応じた講座ができています。</p> <p>【広報活動】 その時々に応じた公民館だよりの発行ができています。ホームページの更新にはよく頑張っていたいただいている。</p>
高瀬	<p>新型コロナウイルス感染の対応として、日常的に地域住民が「つどろ・まなぶ・むすぶ」拠点施設としての公民館活動のあり方を、模索し、地域住民が知恵を出し合っ一人ひとりができることを少しずつ行うことにより、みんなが繋がる「心豊かで活力あるまち高瀬」をめざしていきます。</p>	<p>昨年に比べ公民館利用についてのコロナウイルス感染予防対策が緩和されたため、利用者数が増えた。</p>	<p>各事業を中心に公民館だよりを月1回のペースで発行した。A3サイズの公民館だよりが3回発行できたので、今年度の目的は達成できた。班回覧は活動の様子がわかるようにカラー印刷を心がけるようにした。</p>	<p>主催事業については、予定回数を実施することができた。</p>	<p>コロナウイルスが5類となりコロナ以前の状態に戻り予定通り開催することができた。</p>	<p>【職員対応】 利用しやすい公民館運営が出来ている。</p> <p>【運営方針】 地域活性化スローガンが地域の実態に定着しているため、今後もスローガンに沿った事業内容を展開してほしい。</p> <p>【広報活動】 月1回の発行で大変であろうが、がんばって地域の情報を発信している。今後もこれまで通り継続してほしい。</p>
朝日	<p>大きく変化する社会情勢の中で地区の住民が求めていることが何かを把握し、地域の方が求めている社会教育事業を展開する。中心に子どもをおき、地域がつながりをもって「人が育ち・人がつながり」明るく元気な地区を作るために公民館事業を企画・展開する。</p>	<p>コロナウイルスの影響が長引き、制限が解かれたものの、参加人数や利用者数はそれほど増加はしておらず、公民館利用者が戻ってきていない印象である。ただし、大型のイベント等ができる状況にあるので、利用人数に少しでも戻るよう、PR面も含めて、工夫しながら実施していきたい。</p>	<p>班回覧と全戸配布をすべてカラー印刷にし、視覚的に手に取りやすいようにした。紙面が限られることから、ホームページのブログをほぼ毎日更新するようにし、事業報告だけでなく、公民館の日常や、地域の出来事などを掲載した。今後も情報発信基地として各種お知らせや地域行事等を広報していきたい。</p>	<p>コロナウイルスの影響が少なからずあり、比較的参加者が減少傾向にはあったが、ほぼ計画通りの事業を実施することができた。今後は、地域を巻き込みながら、地域の活性化につながる事業を展開しつつ、今後参加者数を増やすための工夫が必要である。</p>	<p>コロナウイルスによる制限が緩和され、以前のような活動ができるようになり、ほぼ計画通り実施することができた。ただし高齢者学習など、通年事業はなかなか人が集まらず、出足の鈍さを感じた。地域や小学校との連携事業については、協議もでき、実施することができた。特に各町での支援事業は、成果があったのではないかと。学校支援事業についても、次年度への協議ができ、少しずつではあるが、以前の状態に戻りだしてきた。今後も、地域や学校等と密に連携しながら、活力ある朝日に戻していきたい。「地域の寄り合い所」として、講座の開催のない時にも立ち寄ってくれる公民館を目指し、継続して気軽に公民館を訪れる方を増やしていきたい。ちょっと寄ってみたいくなる開かれた公民館となるよう、より一層の努力を心がける。</p>	<p>【職位対応】 良く出来ている。</p> <p>【運営方針】 誠意をもって取り組んでいることがみうけられる。</p> <p>【広報活動】 写真が多く、レイアウト等を工夫しており、見やすい。</p>

令和5年度の反省・評価

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
西有田	<p>公民館は、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として運営を行っています。</p> <p>近年、少子高齢化、地域コミュニティの希薄化、防災等の安全に対する意識の高まりなど、社会変化が著しい中、地域で公民館が果たすべき役割が重要となっております。</p> <p>西有田公民館は、地域住民に親しまれる施設として、皆様に気軽に利用され、つどいの場、地域相互の学び合いの場、そしてまちづくりの拠点としての役割を果たすよう努めてまいります。</p>	<p>前年に比べ大幅に利用者数が増えており、コロナ以降減少していた利用者数も、ようやく元に戻りつつあると実感しているが、講座の参加者数は、まだまだ回復基調にのっていない。</p>	<p>前年度に比べ地域行事等も増え、掲載内容も充実してきているが、HPの更新がややおそかになっていた。</p>	<p>主催事業も前年度に比べ、大幅に増えてきているが、コロナ以前と比較するとまだまだ完全には回復はしていないと感じている。</p>	<p>新型コロナも第5類に分類されマスクも解禁になったことから、利用者にも活気が戻りつつあり、全体的な利用者数は、ほぼ元の状態に回復しつつあるが、自主学习教室と貸館に頼るところが大きく、主催事業は全体的に戻ってきていないのは実感している。講座の内容等を一部変えてみるなど新規受講者の開拓も様々な手を打ってはいるが、中々結びつかず今後も更なる対策を打っていきたい。</p>	<p>【職員対応】 気軽に声を掛けられ寄り付きやすい公民館として、努めている。</p> <p>【運営方針】 公民館運営においては、常任・運営委員会の意見を尊重し、実績との照し合せ等を行いつつ臨機応変に対応している。</p> <p>【広報活動】 公民館情報、地域情報を織り交ぜて発信を行っている。</p>
東有田	<p>* 基本理念…「思いやりの 美しい心を育む人づくり 地域づくり」 * 運営方針… 日田市教育行政実施方針に重点施策を加え、著しい社会環境の変化に伴う課題や自然災害に対して地域住民が安全で安心して暮らせるための学習活動に取り組みます。また地域の活性化を目指した地域づくりにも積極的に取り組みます。</p>	<p>新型コロナの5類移行に伴い、通常通りの事業ができるようになり、受講者数、利用者数も増加傾向であった。また5年ぶりの東有田ふるさとまつりも実施し、多くの来場者を迎えることができ、地区住民の交流ができた。事業単位でみると参加者の少ない事業や受講者の固定化も見られ、改善が必要である。</p>	<p>公民館だよりは計画に沿って発行することができた。 ホームページの更新は目標には届かなかった。月により更新回数にムラがあり、毎月コンスタントな更新を心がけたい。</p>	<p>令和5年度は、青少年事業の夏合宿やふるさとまつりが4年、5年ぶりに実施することができた。 各事業では、高齢者学習事業については、参加者が多く充実した事業展開ができた。送迎バスの運行や交流館での出前講座など、集落支援員との連携など工夫を施した。 その他、青少年学習事業では参加者の減少、成人学習事業では参加者の固定化などの課題が顕著であり、それぞれに改善や工夫が必要である。</p>	<p>左記各項目でも記述の通り、令和5年度はインフルエンザの流行で一部事業が延期になったこともあったが、概ね通常通り事業を実施することができた。 受講者、参加者も増加傾向にあるが、青少年学習事業では各事業で参加者が少なく、ムクの樹体験クラブについては西有田公民館との合同事業、ありた陸上教室は6年度休止とした。活動のマンネリ化を改善する必要もある。 自主学习教室も毎年教室が少なくなっており、令和5年度も1教室解散し6教室となった。教室の体験会等を実施し、新規教室の立ち上げを計画する。 高齢者学習事業は老人クラブ連合会や集落支援員の協力もあり、総じて参加者が多い。 ひがしありた塾では地域の資源を活かした事業展開ができており、今後地域活性化に活かせるような展開を考えたい。また、ミドル世代の井戸端会議では40代から50代の壮年層の方に参加いただき意見交換ができた。6年度にはひがしありた塾など他の事業と連携するなど新たな展開を企画する。 基本的にすべての事業の見直し・改善・工夫をする必要がある。</p>	<p>【職員対応】 利用者への気配りもしっかりしており、対応も良好さを十分感じられる</p> <p>【運営方針】 地域団体との連携が重要であり、しっかり取り組んでいる</p> <p>【広報活動】 各行事に対し情報発信がわかりやすい内容で伝わっている。</p>

令和5年度の反省・評価

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
小野	生涯学習の充実と地域及び各種団体との連携を図り、地域住民相互のふれあいを深めながら健康で明るい生活の実現と豊かなまちづくりを旨とします。	利用者数の純粋な増加はないが、主催事業への参加者数が徐々に増え、自主学習教室も少しずつ立ち上がっており、今後も、これまで同様、来館者増に向けて努めていきたい。	毎回の事業参加者が増えるように、来館者用チラシの作成回数が増にも取り組んでいきたい。また、公民館だよりでは、地域情報の掲載、写真や文字の大きさも気を付けて、地域の方に目を通して頂ける広報紙になるようにより一層取り組んでいく。	当初予定回数を予定通り行った事業と、予定回数を超えた事業が大半だが、予定回数を下回る事業が例年より多かったことが反省点である。豪雨災害で地域が落ち着かない状況でもあり、夜開催の事業や高齢者の集まる事業について開催を控えていたところもあり、巻き返しを図れなかった。	令和5年度特有の事象である選挙や災害ボランティアセンターの貸館利用などを除いたところでは、令和4年度から約1.1倍の利用者数の増加があった。子ども事業では約4年ぶりに宿泊事業を開催した。台風による悪天候予報で、泊数を減らし1泊での開催となったが、体験の幅が広がり、子どもたちにとっても良い経験となった。ただ、感染症予防のための制限によって、これまでの4年間に体験を積むことが出来ていないので、今後もしばらくは、コロナ前以上に丁寧なフォローが必要だと感じた。	<p>【職員対応】 常に新しいアイデアで見て楽しい催しのチラシや広告に工夫を凝らしている。電話の明るい対応も心地よい</p> <p>【運営方針】 公民館の活動理念に基づき、新しいアイデア、積極的な行動力で明るく豊かなまちづくりを目指している</p> <p>【広報活動】 地域の行事、情報が大きい文字や写真、イラストで盛りだくさんに掲載され、地域の動きが良くわかる</p>
大鶴	日田市大鶴公民館は、地域に密着し住民に開かれ、多くの住民が利用しやすい公民館を目指して、各種事業の充実を推進し住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に努めます。 公民館は地域住民にとって最も身近な学習施設であるだけでなく、地域課題解決の場とともに地域の絆を強め、人づくり・地域づくりの拠点としての役割を果たします。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての制限緩和により、主催事業における参加者はコロナ禍前に戻りつつある。また、貸館利用者も同様である。自主学習教室については教室生の減少が課題であるが活動は意欲的になされている。今後は、各事業の一層の充実と、自主学習教室の魅力発信により、利用者増を図っていく必要がある。	地域の各種団体からの掲載依頼も多くなってきた。今後は、自主学習教室の活性化、高齢者学習事業への参加者増、防災をはじめとする地域課題に関する情報提供なども紙面に加えるながら、より地域住民に愛される公民館報となるよう努めていく。また、若年層も含め幅広い年代にも広報できるようホームページの積極的な発信にも努めていく。	新型コロナウイルスによる各種事業の中止・縮小を乗り越え、コロナ禍前の状況に戻りつつある。中でも、青少年の宿泊事業、多くの地域住民が集った「公民館まつり」などは活気を取り戻すことにつながった。また、アウトリーチ型事業として実施した「出前寿大学」は大好評であり、今後の公民館活動に対する参考となった。次年度も、参加要請など工夫をしながら事業内容の充実を図りたい。	地域の諸団体や学校との連携をこれまで以上に進めながら、住民のニーズに対応する工夫を行ってきた。また、繰り返される災害も念頭に置いて幅広い知識と体験を得る機会づくりにも努めてきた。また、「公民館に来てもらう」だけでなく、公民館が「地域に出掛ける」機会を設けたり、地域の話題を公民館報への掲載を増やすなど、コロナ禍における工夫を活かす取り組みも進めることができた。さらには、実施する公民館が皆無となってきている「通学合宿」や、中学生を対象にした「防災キャンプ」なども、地域住民の協力で支えられながら充実を図ることができた。 自主学習教室については、教室によっては教室生の減少により活動継続が困難になってきている状況も見られる。広報活動や公民館まつりを通して活性化を図っていく必要がある。 次年度以降も運営委員会や地域団体、夜明公民館など他の公民館などと連携しながら、地域の学びの拠点としての役割を果たしていくことが必要と考える。	<p>【職員対応】 振興センター職員との関係を含め、職場環境もよく、来館者への対応も適切に行えている。継続して頂きたい。</p> <p>【運営方針】 新型コロナによる行動制限を教訓に公民館がいかにあるべきかの位置付けを再確認して頂き、今後の地域文化の向上に努めてほしい。</p> <p>【広報活動】 毎月の発行を地域住民が楽しみにしている。更に相違工夫をして頂き、読みやすく且つ地域情報の発信を継続して取り組んで頂きたい。</p>
夜明	日田市教育行政基本方針に基づき、子どもから高齢者までの多様な学習要求に対応した魅力ある学習機会の提供と、地区住民の学習意欲を促進します。また、夜明は小規模ですが、ふるさとを愛する心と元気に満ちた地区です。そういった夜明の活力を活かし、家庭・学校・地域が一体となって、今以上に誇れる「ふるさと夜明」を住民自らの手で作り上げられる様な取り組みを、地域の社会教育関係団体等と連携・協力し推進します。		公民館だより等の紙媒体は計画通りに発行できたが、ホームページの更新については反省している。夜明の出来事を積極的に載せ、より多くの人に届く情報を心がけたい。	固定化している事業が多いので、事業内容の工夫と時代のニーズに合った新規事業にも積極的に取り組む必要がある。主催事業と同様に活動が再開された地域団体との連携にも力を入れ、住民により多くの学習機会や情報を提供することを心がけた。	夜明地区は中山間地域で高齢化率も高く、また公共交通アクセスも不便であり利用者が限定的になりつつある。広く利用できる施策を中長期的な検討を心がけながら事業を行っている。 児童から高齢者まで事業展開をしているが、利用していない人へのアプローチが必要である。今後も地区住民の方のニーズを把握し、積極的に参加したい事業展開に心掛ける。	<p>【職員対応】 敷地内外の整備や花植、草刈等 地域住民と連携し、美化に努力している。</p> <p>【運営方針】 コロナ禍も明けたとされ、事業内容と規模は以前の状況に回復傾向にあり、状況をみながら実行することができた</p> <p>【広報活動】 毎月1日に広報を発行し、地域の情報の共有化の一助になっている。公式ホームページの更新をタイムリーに実施することが必要。更に地域の情報源として紙面の充実をお願いしたい。</p>

令和5年度の反省・評価

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
五和	五和地区住民の生活に即した教育や学術・文化に関する事業を開催、または促進し、社会福祉の増進に寄与する。	感染症による制限も緩和されたことを受け、特に主催事業に力を入れた分、しっかりと利用者増に繋がった。貸館に関しては年度頭に2回選挙が行われたため大幅に増えているが、実質は同程度であった。	月1回の全戸配布を継続しつつ、地域情報についても多くの出来事を掲載できた。地区住民の要望をヒアリングする機会を積極的に設けたことにより、情報密度の向上になった。	開催数も参加者も順当に増加できた。地区住民も制限のある状況から脱したいという気持ちを持っており、その一助となる活動が出来た。受講生の固定化している事業が多いため、新しい学びの形を考えつつ展開を続ける。	制限が緩和された一方、実質感染症の蔓延が止まった訳ではないなか、利用者へのアプローチを変えていく年になった。積極的な事業参加を促すため、日ごろから利用者とのコミュニケーションを図り、地域実態やニーズの把握に努めた。主催事業の伸びからいけばその成果が見えるようにも思えるが、地域力向上に参画している地区住民から感じるのは「もっと出来るはず」といった気概であった。この4年間で停滞や衰退ではなく、変革のための布石であったと実感できるよう、既存の事業に加え学社連携などに力を入れていきたい。	<p>【職員対応】 問題なく運営できている。今後も明るい対応、環境整備をこころがけ、足を運びたいなる公民館づくりを行うこと。</p> <p>【運営方針】 感染症対策を講じての厳しい条件下を乗り越え、本格始動の始まった1年だった。常に最善を考え、次への見通しを持って運営を実行できていた。</p> <p>【広報活動】 地区外の人にも良い情報源となるよう今後も努めること。HPの更新回数を増やせればなお良い。</p>
前津江	幼児から高齢者まで地域に根差した生涯学習の拠点として、教育・学術・文化に関する各種事業を提供すると共に、住民自らが地域の課題を考え解決するための学習の拠点とします。	世帯数・人口共に減少傾向ではあるが、利用人数は若干だが増加傾向にある。青少年事業の参加率が低く、令和6年度に向けて工夫を凝らす必要がある。	広報・チラシともに予定に沿った発行と周知はできたが、ホームページの更新については課題が残った。	年度当初計画とは異なる計画になる事が多かったが、概ね予定通りの事業実施となった。しばらくの間新型コロナウイルスの影響で実施することが出来なかった、まえつえジュニア倶楽部サマーキャンプも無事再開し、以前のような活気ある活動が出来ようになった。	令和4年度と比較し、利用人数等は増加しているが、ふるさとまつりの人数統計が多く、その分の数字を考慮すると、減少傾向にある。公民館利用者からの意見をより多く取り入れ、来やすい親しみある公民館作りを心がけていきたい。青少年事業では、公民館へ来たことがない保護者が居り、公民館職員と保護者との繋がりが希薄な傾向にある。来年度より保護者説明会などを設け、より公民館職員と接する機会を増やし、若い世代の事業への参加や公民館への理解を深めてもらえるよう、配慮した方法で行ってきたい。	<p>【職員対応】 前津江公民館へ「行きたい」という気持ちを持ってもらえるようにしていきたい。</p> <p>【運営方針】 「住民が利用しやすい公民館」を目指して頂きたい。</p> <p>【広報活動】 住民への連絡や報告及び記録として充実して頂きたい。</p>
中津江	中津江村の下記のような諸課題に対して、社会教育の側面から事業の実施をします。 1. 住民ひとりひとりの日々の暮らしの「質」をより良くしていくことは今後も大きな地域課題です。健やかでイキイキとした生活を支える事業に取り組みます。 2. 中津江村の資料・記録をデジタルデータとしてまとめていきます。 3. コミュニティスクール(CS)の活動をサポートしていきます。 4. 中津江ホールの閉館に伴い、そこで開催されていた活動を公民館の施設の中で引き継いでいきます。	新型コロナウイルス感染症のため公民館を訪れなくなった高齢者層がなかなか戻らない。高齢等を理由に外出しない人が増えた。どうもどすかが課題	地域情報は振興局だよりや住民自治組織だよりで取り上げているため、公民館だよりは主催事業を中心に掲載するようにしているが、振興局と相談のうえ防災に関する情報は重複しても掲載するよう務めた	コロナ禍以降、高齢化もあいまって不安を感じて外に出なくなった人たちが多く、今後も地域住民にとって役立つ公民館であるよう対応していきたい	中津江の諸課題(少子高齢化、地域人口減少、新たな組織の発足等)に加え、自然災害、新型コロナウイルス感染症等もあり、既存の主催事業の枠組みを計画通りに実施することに工夫しなければならぬ局面が多くなってきている。地域課題に即した主催事業を作っていく事が重要であると思うが、防災や地域づくりに特化した別組織もあり住み分けが難しいのが現状	<p>【職員対応】 地域との繋がりは公民館職員としてもっとも大切なものだと思います。今後も丁寧な対応を期待します。</p> <p>【運営方針】 新型コロナが5類に移行したいぶ以前のような活動ができるようになったと思います。地域の人口は減少していますが、今後もさらなる工夫を期待します。</p> <p>【広報活動】 「振興局だより」や「むらづくり役場だより」との住み分けをうまくされ、重複した内容にしないよう良く工夫した公民館だよりを発行していただきたいです。今後も充実した内容の紙面を期待します。</p>

令和5年度の反省・評価

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
上津江	日田市教育行政実施方針を基に、地域の声を聴き、地域に親しまれる公民館を目指し、各種団体と連携を図り、地域の生活に根差した事業・住民の学習意欲を高める事業・街づくり支援事業を核として幅広い年齢層の方々を対象とした各種事業を開催します。	令和5年5月から新型コロナウイルスの分類が2類から5類になったことにより、通常通りの事業実施となり、より多くの事業を実施することができ、利用者も増加した。自主学習教室ではコロナ禍が始まって以降、再開できた教室があり、利用者が増加した。	公民館だよりは、計画通り発行することができた。チラシも事業の状況に応じて発行することができた。上津江地区は「振興局だより」「振興協議会だより」も発行されていることから地域の話題等はできるだけ他誌にまかせて棲み分けを図った。	新型コロナウイルスの分類が2類から5類になったこともあり、計画どおりの事業に近い実施ができた。利用者や参加者の意見を聞きながら実施することができた。バスを使った研修や市外での研修など内容も豊富になり参加者にも好評であったが、バス代の値上がりなど予算の組み換えが必要な事業もあった。	各事業とも、運営委員会の方々や連携団体と協力して実施することができたのは、よい関係が築かれていた結果であるといえよう。また、各自治会の総会に出かけて公民館運営の説明をしたり、様々な場面で声を聴いたりしたことであって、地区住民の声を事業に反映させることができた。中には事業の企画・運営を提案される方もいて、学ぶ力の高まりを感じた。事業だけでなく、広報誌への投稿も続いており、関心の高さが伺える。また、新型コロナウイルスが5類となったことから自主学習教室が再開されたことも推進力となった。	【職員対応】 利用者に対し、館長・主事ともに誠実に接することができる。 【運営方針】 社会教育及びまちづくりの支援に努力している。 【広報活動】 公民館活動や川柳コーナーなど、今後もさらなる内容の充実が望まれる。
大山	「ふるさとを愛し未来を切り拓くひとづくり」を基本理念に、地域住民の生涯学習、社会教育活動を推進する。地域の課題を地域住民と考える、地域の各グループ、各種行政機関、学校、民間団体等と連携しながら課題解決にむけた学習機会を提供するとともに、住民より地域課題を解決する学習活動をおこない、人材育成、まちづくり支援をすすめる。	令和4年度と比較して、令和5年度は主催事業、自主学習教室、貸館利用とも利用回数、利用人数が増えた。	全ての主催事業について、募集チラシ、告知チラシは適切なタイミングで発行した。	大山スマイルマルシェ、大山すみいい会、大山振興局、大山文化センター、大山農研、博多ジャズオーケストラ公演実行委員会等、行政機関や地域団体と連携し事業をおこなった。あわせて大山小中学校と連携し家庭教育講演会を行った。	公民館まつりを4年ぶりに開催することができ、外部ゲストを招聘し、大山スマイルマルシェと同日開催することで多くの集客があった。「大山っ子チャレンジ教室」の宿泊事業も4年ぶりに実施することができた。全ての事業についてはほぼ計画的に実施できた。	【職員対応】 公民館利用者に対しよりよい接遇をこころがけた。いつでも快適に公民館を利用できるよう館内外の清掃、整理整頓につとめた。 【運営方針】 各種行政機関・各種団体と連携した事業がなされた。 【広報活動】 公民館事業や地域の行事など、わかりやすい記事の掲載につとめていた。
天瀬	日田市公民館運営事業団の地区公民館像「地域に密着し、地区民の利用しやすい公民館」に基づき、集い・学び・夢が実感できる、時代に合った公民館づくりに取り組む。 引き続き、「元気で魅力あふれる」公民館づくりを基本方針に掲げ、知己が共に支えあい「誰もがちよつと寄ってみたいくなる・魅力あふれる」地域に根差し、多くの住民の方に利用いただける公民館づくりに邁進する。	新型コロナウイルスが5月に5類に移行したことにより、概ね通常通りに事業を展開することが出来た。主催事業の回数、参加者も増加している。自主学習教室については教室数、さらに教室生の減少もあり回数、参加者も減っている。	公民館だよりについては、予定通り発行することが出来た。主催事業だけではなく、地域の情報なども出来るだけ掲載するよう心掛けている。ホームページは地域情報の掲載が少なかった。	ほぼ予定通りに事業を実施することが出来た。少しずつ参加者も戻ってきている教室もあるが、まだまだ参加者が少ない教室もある。	今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、ほぼ制限がない状況で事業を展開することが出来た。令和4年度には実施出来なかった「teamあまがせ」もキャンプを含め、実施することが出来た。寿学級も5年ぶりにバス研修を開催することが出来て、多くの方に参加していただいた。ただ、参加者が減っている事業もあるので、R6年度は少しでも増やしていけるように工夫をしながら事業を展開することが必要。	【職員対応】 来館者には丁寧な対応をしている。利用者が気持ちよく利用出来るよう、より一層の丁寧な接遇を求める。 【運営方針】 運営方針に対して、地域団体等と連携しながら取り組んでいる。 【広報活動】 写真とイラストを使った紙面づくりに工夫が見られる。さらに来館者が増えるよう、より一層積極的な情報発信を求める。